

在宅医療・介護多職種連携協議会 多職種連携・情報共有システム部会 ～報告～

部会の目的

在宅医療に係る多職種連携の推進及び情報共有システムの効果的な活用について検討する。(試行WG, 試行WG評価チームの発展形)

- 症例を通じた多職種連携ルールの検討
- 好事例を基にした情報共有システムの活用方法の検討

内容

<p>第2回部会 参集形式 (令和7年9月24日)</p>	<ol style="list-style-type: none">1 報告 (1) 令和7年度現況届の実施結果 (2) カシワニネットID新規発行手順の変更 (3) 令和7年度個人情報保護研修会2 議事 カシワニネットの効果的な活用に関する具体的な取組を検討する (病院編)
--	---

■ 現況届とは

- ・ 職員の異動等が多い年度初め（4月頃）に実施している
- ・ カシワニネットの利用にあたり、個人情報 の適正な取扱いの観点から登録状況（職員の新規登録、削除、事業所情報）の確認のために現況を届け出てもらうもの

■ 回収状況及び現況確認に伴うID発行状況（※7月末時点）

- ・ 回収率は、0.2ポイント増加した
- ・ 今年度のID新規発行者数について（考察）
 - ➡ 入退職があった時点で速やかに届出する事業所が増加したため、現況届での申請は、例年と比べ少なかった
 - ➡ 令和7年3月以降に閉所する事業所が多かった（13事業所）

	発送数	回収数	回収率	ID新規発行者	ID削除者
令和7年度	493事業所	472事業所	95.7%	99人	174人
令和6年度	475事業所	454事業所	95.5%	196人	196人

■ 未提出事業所に対する対応について

<具体策>

- ① 部会員に協力いただきながら未提出事業者へ現況届の提出依頼を行っていく
- ② 年度末に向けて現況届を提出いただけなかった場合は、事前に通知文を送付した上で、部屋の閲覧を制限していく

令和7年8月より **カシワニネット ID新規発行の手順が変わりました**

➤ これまで

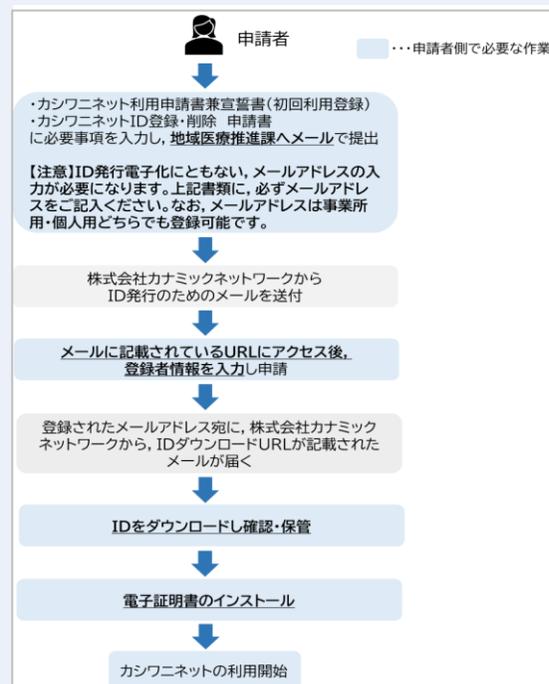
- ・市へ様式を提出
 - ・IDは紙で発行, 郵送
- ➔ IDが申請者へ届くまでに1週間前後かかっていた

➤ これから（令和7年8月から）

- ・市へ様式を提出後, **申請者がカナミック上で新規登録者の情報を入力**する
 - ・**IDをメールで受け取る**（紙での郵送がなくなった）
- ➔ **IDは申請当日～3日程度**で発行

※市・カナミックの営業日以外を除く

柏市ホームページ
「カシワニネット事業者向けページ」より



■ 概要

目的	<ul style="list-style-type: none">・ カシワニネットの利用において、患者一人一人の個人情報を取り扱うことから、利用する各職種が、個人情報保護に対する意識と知識を高めること・ 一人でも多くの利用者に受講してもらい、研修を契機に適切な個人情報の取扱いを意識し、実践してもらうこと
研修形式	研修システムを活用したeラーニング
受講対象者	カシワニネットを利用する全員 約2,300人 (R7.7月末時点)
実施時期	令和7年11月5日(水)～26日(水)
内容	(1) 個人情報保護について (2) カシワニネットの効果的な活用に関する動画

■ 受講促進策

- ・ 受講者が受講しやすいように研修システムのマニュアルなどの工夫
- ・ 周知方法等の工夫
- ・ インセンティブの発行（合格証、優良事業所認定証※の発行） ※全てのカシワニネット登録者が受講を終えた事業所
- ・ 研修期間終了後のアーカイブ配信

■ R6~R7年度部会のテーマ

多職種連携においてスムーズな情報共有を行うために、カシワニネットの効果的な活用に関する取り組みを検討し実行する



①カシワニネット操作・活用に関する研修の実施（結果）

■目的

- ・カシワニネットの理解を深める
- ・システム操作への負担感や苦手意識を軽減する
- ・カシワニネットの活用方法を学び、日頃の支援の中で活用できるようにする

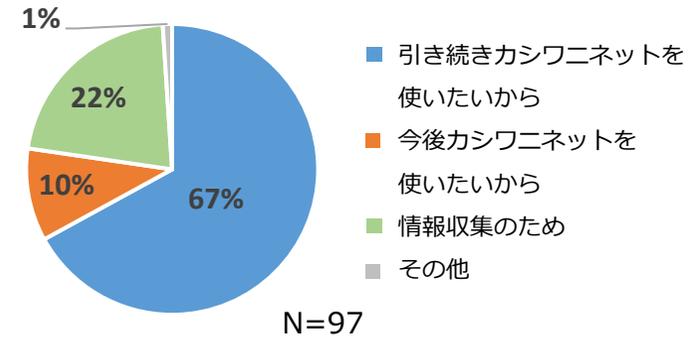
■概要と結果

	eラーニング	参集
実施時期	令和7年7月18日（金）～31日（木）	令和7年7月22日（火） 【1部】16:30～17:30 【2部】19:00～20:00
内容	・カシワニネットの基本的な操作 ・カシワニネットの活用方法の紹介	カシワニネットの基本的な操作 ※（株）カナミックネットワークマンツーマンでの実施
申込者	149人	6人
受講者	動画視聴数：188回 アンケート回答者数：97人 カシワニネットへの投稿者数：87人	【1部】2人 【2部】2人（うち1人は1部も参加）

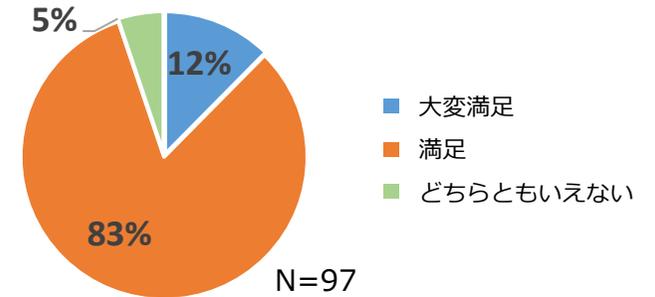
■ アンケートの結果

- ・ カシワニネットを活用したことがない方を対象に実施した研修だったが、**受講層は、カシワニネットを活用したことがある方（部屋へ参加している、参加していた）が多かった。**
- ・ 既に活用している方であっても、自身の情報収集のために受講する方が一定数いた。
- ・ **研修内容は操作編・活用編ともに、概ね良好の理解度であり、「大変満足」「満足」と回答する方は全体の95%であった。**
- ・ 一方、「投稿の具体例・内容をもう少し知りたい」「やりがちミス例を知りたい」といった**事例紹介を求めるコメント**や、「医療の立場から介護にどのような報告を求めているか情報交換できる研修があるとよい」といった、**活用促進に向けたアイデア**もあった。

受講理由



満足度



■ 今後の予定

- ・ 10月頃に3か月後アンケートを実施
- ・ アンケート結果を踏まえ、第3回部会にて評価を行う

②病院との連携におけるカシワニネットの活用

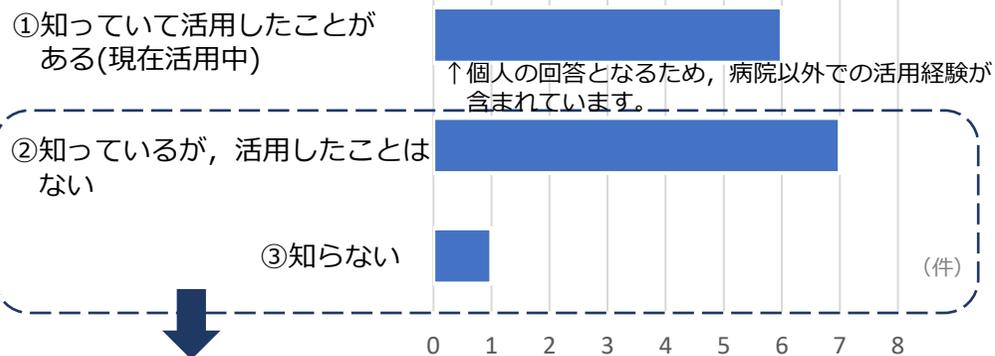
■カシワニネット活用状況等に関するアンケート（病院編）

期間：令和7年7月30日（水）～8月12日（火）

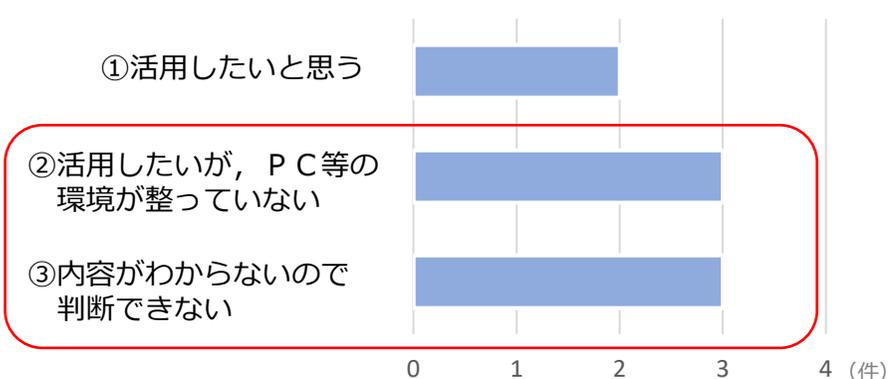
対象：16病院（病院地域連携担当者会議 出席者）

回答：14病院

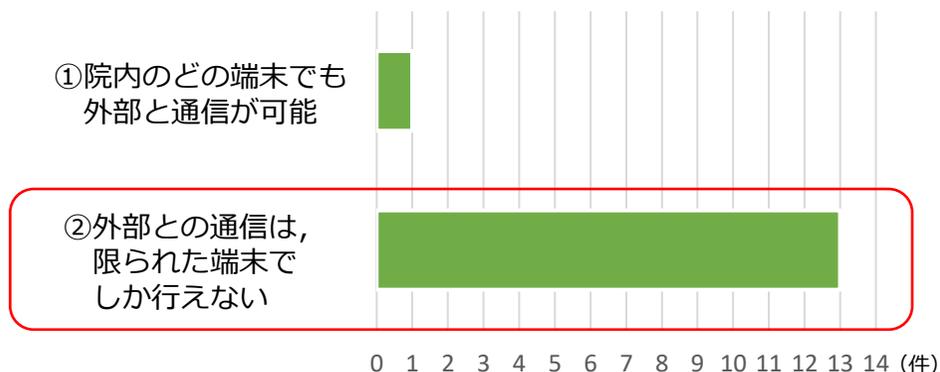
<認知度>



<今後の活用意欲※②③選択した方のみ回答>



<インターネットの環境>



■アンケート結果（自由記述）

- 活用の方法を検討していても浸透しないのであれば、せめてバックベッドあり在宅療養者は、カナミック導入を共通ルールとしていくのがよい。
- 非常に有効だと感じているが、気軽に端末に触れる環境にない当院の体制上、限られた職員でしか活用できていない。
- カシワニネットと電カルが連動していないため、使用しづらいというのが率直な感想。携帯の端末でも見れるとのことであったが、個人情報の兼ね合いもあるため個人の携帯端末でみることは控えたい。
- 多くの関係機関が使える情報共有ツールがあることは良い。調べればよいかもしれないが、新たに参加したい場合の登録方法を、今一度案内いただければ当院も参加できるかと思う。
- 連携部門以外の院内スタッフへのID登録をしても、インターネットに接続できる端末が限られている事や外来診察室にそうした端末が無いため、診察に関するタイムリーな情報共有は難しい。連携部門に限るが、全ての部屋を連日確認する事については業務量的に困難な事が多い。カシワニネットの利用について、院外他職種から利用を提案・推奨される事が殆ど無い印象を受けている。レスパイト等の入院や、頻繁に在宅ケアスタッフと加療のやり取りが必要なケースについては、とても有用性があると認識している。
- 退院前後の患者様の情報共有がスムーズにできるため、時間の有効活用や患者様の対応に早くつながると思われる。
- タイムリーにインターネットにつながる環境にあればよいが、現実的には難しいか。
特に地域との連携強化が必要な外来では、業務体制からも活用がしにくい環境なのかもしれない。

■ アンケート結果から見たこと

効果的に活用できそうなこと

- ・ **バックベッド** がある在宅療養者の情報共有
- ・ **レスパイト等の入院時** における情報共有
- ・ **頻繁に在宅側とやり取り** が必要な在宅療養者の情報共有
- ・ **退院前後** の患者様の情報共有

課題となりそうなこと

・ 外部との通信（インターネットの環境）

外部と通信ができる端末が限られている（気軽に触れられない環境）

個人情報の漏洩によるリスク

・ 作業の二度手間による業務負担

電子カルテが外部との通信ができないため、別の端末で改めて情報を入力する必要がある

・ カシワニネットの活用方法等の認知

活用方法等がわからないため、活用したいかどうかの判断がつかない

■ 全体協議

病院にカシワニネットを効果的に活用いただくために**必要な取組を検討**

意見

○病院側に「メリット」を感じてもらえる取組

- ・ 病院側へのメリットの提示
- ・ 成功事例を取り上げる

○病院のネット環境・ハード面を支援する取組

- ・ カシワニネットが使える端末機器の支給又は貸与

○業務負担を軽減できるような取組

- ・ 病院が欲しい情報がカシワニネットにある
- ・ 入力の簡便化(手間がかからない)

○病院への普及活動に関する取組

- ・ 病院へ出向き, 研修を実施する
- ・ 各病院で 1 例モデルケースをうごかしてみる

■今後の予定

第2回部会を踏まえ、病院との連携におけるカシワニネットの活用に関わる取組を実行する

■第3回部会 令和8年2月初旬～中旬頃実施予定